

奈良県税務総合クラウドサービス用端末機器等の借入れに関する質問回答について

No.	質 問 事 項 等	回 答
1	賃貸物件をMDM(Mobile Device Managementの略称であり、パソコンやタブレットなどの情報端末を管理するシステム)の管理対象とする場合、賃貸物件の返還に際し、貴県の責任とご負担により事前に当該賃貸物件をMDMの管理対象外としていただくものという認識でよろしいですか。	本県ではSKYSEAにより端末を管理しております。SKYSEAのマスターは本県で削除するため、端末の初期化(フォーマット)作業は委託範囲内で削除ください。
2	仕様書4. 事前準備作業(1)番号系ネットワーク利用業務端末 ②税務総合クラウドサービス導入業者への依頼(eL TAX設定作業)および仕様書4. 事前準備作業(2)行政系ネットワーク利用業務端末、周辺機器 ②税務総合クラウドサービス導入業者への依頼(OSS審査設定作業)に記載の税務総合クラウドサービス導入業者にて実施する作業は、本件調達の対象外ということで入札金額に含めないということよろしいですか。	お見込みのとおり、「税務総合クラウドサービス導入業者にて実施されるソフトウェアインストール作業及び設定作業」は、本件調達の対象外となります。
3	仕様書4. 事前準備作業(1)番号系ネットワーク利用業務端末 ⑤現行端末運用事業者への依頼に記載の現行端末運用事業者にて実施する作業は、本件調達の対象外ということで入札金額に含めないということよろしいですか。	お見込みのとおり、「現行端末運用事業者にて実施されるソフトウェアインストール作業及び設定作業」は、本件調達の対象外となります。
4	番号系ネットワーク利用業務端末の「端末納品業者セットアップ」作業に、OCR読取ソフト搭載とあるため、OCR機器納品はこの日程であると想定しております。 この場合、開札:令和7年11月21日から令和8年1月中旬のOCR機器納品まで、約1ヵ月半の期間となっております。 また、OCR機器をご利用いただくためのパラメタ開発のため、帳票や出力仕様などをご提供いただく必要がございますが、その提供時期はいつ頃を予定しておりますでしょうか。 ご提供いただいてからの作成作業となるため、令和7年12月中旬などとなる場合は、OCR機器納品までに間に合わせるのは非常に困難です。 状況に応じてOCR機器納品を、令和8年2月末や3月末などに日程調整は可能でしょうか。 また、OCR機器は1拠点に納品し、(1次展開)(2次展開)で移設されるスケジュールでしょうか。	帳票(読み取り様式)は、令和7年12月上旬までの提供を予定しております。 また、1次展開で納品したOCR機器(1台)は、令和8年3月下旬に2次展開用として移設いただく予定です。

No.	質 問 事 項 等	回 答
5	仕様書 別紙2-1 ハードウェア・ソフトウェア仕様(2)番号系ネットワーク利用業務端末ソフトウェア、(4)行政系ネットワーク利用業務端末用ソフトウェアの2 ウイルス対策ソフトについて、「ウイルスバスターコーポレートエディションPlus(追加ライセンス)が購入されていること」とあります。追加元のライセンスIDをご教示ください。応札にあたって、見積を徴求する必要があり、その際に追加元のライセンスIDが必要となります。	以下で積算ください。 ■ライセンス型番: ウイルスバスターコーポレートエディションPlus ■ランク: TRSLガバメント ■現在のライセンス数: 約6,200程度(7/1現在)